

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大和市中心1丁目計画	階数	地上9F
建設地	神奈川県大和市中心1-505-1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	96人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定	評価の実施日	2017年7月5日
敷地面積	510㎡	作成者	株式会社NEOデザイン
建築面積	337㎡	確認日	2017年7月5日
延床面積	2,421㎡	確認者	株式会社NEOデザイン



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
街並みから突出することの無いデザインに努め、周囲への圧迫感をやわらげようとする建築計画とした。		
<b>Q1 室内環境</b> 住戸内の快適性を確保するため、温熱環境(外皮断熱性能)、空気質環境(F☆☆☆☆建材、自然換気窓)の向上に努める。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い設備配管の採用により、建物の長寿命化を図る。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地を設けることにより、良好な景観を形成する。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明器具の採用により、エネルギーの削減を図る。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 代替フロン断熱材の採用により、フロン材の使用回避に努める。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量を削減するよう努める。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される